

第14回市議会意見交換会の結果（2月3日、宝塚西高校）

第1班	<p>テーマ タバコのポイ捨て・花火</p> <p>参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員（人数）3人 （氏名）浅谷亜紀 梶川みさお 中山ゆうすけ</li> <li>・生徒（人数）2人</li> </ul>
<p><b>【①意見交換および発表の内容】</b></p> <p>生徒：通学路（中津浜線）や逆瀬川駅周辺に、タバコの吸い殻が多く落ちていた。</p> <p>議員：宝塚市では宝塚駅周辺などで、条例により路上喫煙が禁止されている。自治体によっては自治体全域で禁止しているところもある。</p> <p>議員：自治会役員として年に2回、町内の吸い殻拾いを行うが、水路や道路上に吸い殻が多い。</p> <p>議員：捨てることが良くないという啓発と、ゴミを掃除する両方の取り組みが必要だ。</p> <p>生徒：携帯灰皿を持つことを広めてはどうか。</p> <p>生徒：イギリスでは、吸い殻を投票箱のように入れて意見を表明できる「バロット=ビン」という取り組みにより、ポイ捨てが減った事例がある。日本での導入も面白いのではないか。</p> <p>議員：定期的な回収要員が必要になるという費用面の問題があるが、面白い試みだと感じる。</p> <p>議員：トイレでの取り組みのように「捨てないでください」ではなく「きれいにしてくれてありがとう」という表現の方が効果的だという考えもあるだろう。</p> <p>議員：吸う人、吸わない人両方の立場を踏まえながら、分煙を整備する必要があるだろう。</p> <p>生徒：宝塚市では、手持ち花火ができる場所が殆どない。公園でできず、敷地内で行っている。</p> <p>議員：それでも公園でしている人もいるはずなので、そのルールを守っている志は素晴らしい。</p> <p>議員：地域（まちづくり協議会など）でルールを作り、住民の合意が得られれば、これから先はパークマネジメントの仕組みの中で、花火のできる公園を作れる可能性がある。</p> <p>生徒：花火大会は子どもの頃にあったが何故なくなったのか。</p> <p>議員：警備等の費用面や安全面、法律面の課題により中止となった。</p> <p>生徒：花火は市民にとって心に残る行事であると思う。</p> <p>議員：プロジェクションマッピングなど、形を変えたイベントとして復活した場合、高校生の皆さんの視点から、楽しめるか、それともやはり花火大会が良いのか、忌憚なき意見を。</p> <p>生徒：花火大会に越したことはないが、もし違うイベントであってもあれば参加してみたい。</p> <p>議員：様々な形で検討が必要</p> <p><b>【②意見交換から見えてきた市政の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分煙の取り組みの推進（条例の整備）</li> <li>・ポイ捨て禁止の啓発（携帯灰皿・バロット=ビンの取り組み・表現方法を工夫した掲示など）</li> <li>・手持ち花火ができる公園の整備（パークマネジメント計画への盛り込み・地域の協力など）</li> <li>・花火大会の復活（あるいは形を変えての市民イベント）</li> </ul>	

※2月9日（月）までに、議会事務局へデータでご提出ください。

## 第14回市議会意見交換会の結果（2月3日、宝塚西高校）

第2班	<p>テーマ ゴミのポイ捨て と バスの本数</p>
	<p>参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員 (人数) 3人 (氏名) 北山 照昭 村松 あんな おだ たか子</li> <li>・生徒 (人数) 2人</li> </ul>
<p><b>【①意見交換および発表の内容】</b></p> <p>&lt;ゴミのポイ捨てについて&gt;（20分間意見交換）</p> <p>生徒から、公園のゴミや池のゴミ(悪臭含む)が気になっていると問題提起があり、子どもが遊ぶ場所にゴミがあると環境や衛生状態が悪くなるので心配だと意見があった。スナック菓子の袋やマナー違反によるゴミが多いが、池にはボールや発生した藻による異臭や魚の死骸で腐ったような、吸うと健康を害しそうな臭いがしているとの意見であった。ゴミ箱もないので困るとの事。</p> <p>議員から、臭いは流れのない水に発生した藻や魚が何らかの理由で死んで腐乱した臭いで、健康を害するような心配はないが、池は昔、ゴミだらけで、地域の人みんなで水をいったん抜いて掃除をしたり、弁天池などは小仁川という川と池が一つになった池で、(河川を含んでいた)県の管理下にあり、なかなか市では対応できなかった。</p> <p>生徒から、自動販売機のカン用ゴミ箱にも家庭ごみが捨てられてカンが入らないなどマナー違反が多いので、注意喚起するためにもゴミ箱の横見える所に啓発ポスターなど掲示すれば効果があるかもと建設的な提案があった。</p> <p>議員から、清掃も業者に頼むのではなくて、地域の住民がみんなでやるのが啓発にもなり効果が高いとの意見があった。捨てる人も地域住民の可能性が高く、掃除する手間を体感するとポイ捨て防止になる。</p> <p>生徒から、駄菓子屋さんの取り組みで、子どもが落ちているゴミを一つ拾ってきたら、ジュースを飲ませてくれるというのがあった。子どもの習慣付けにも効果がある。ゴミ箱設置はコストが高いし、ゴミ収集場所もカラスに荒らされるので、どこの場所に設置し誰が掃除するのか問題。</p> <p>&lt;バスの本数について&gt;</p> <p>生徒から、総合福祉センター前から逆瀬川行のバスが1時間に1本しかない。(時刻表を見せての訴え。8時9時台はゼロ本)バス以外だと駅までの自転車だが、小林駅にも自転車置き場に空きがなく困る。阪急バスはテスト期間には臨時便を出して増便してくれている。乗車整理をするために先生が朝2人立ってくれて生徒はバスカードで学年ごと30人ずつ乗車している。</p> <p>&lt;発表の内容&gt;</p> <p>ゴミの問題は意見交換の内容を踏まえて、学校(近隣の学校とも)と協力してみんなでゴミ拾いをすればよいのではないかと。地域の住民もわんわんパトロールなど散歩の機会に協力して協助したらゴミが減って環境が良くなると思いました。</p> <p><b>【②意見交換から見えてきた市政の課題】</b></p> <p>市民の声をよく聴いて、地域住民の困りごとに目を向け、解決に向けて動くことが大切だが、ゴミの問題などは、意見交換の結果からも、地域全体の意識を変えていくことが必要。住民の美意識の向上が環境を良くしていくのでは、という話になりました。市民が参加して全体で環境を良くしていく仕組みを考えることが必要。校長先生からのお話でも、生徒が自分の子供を通わせたい(魅力的な)学校になることと、市も住み続けたい街になる努力をとの願いがあり、その通りだと、問題意識を共有しました。以上</p>	

※2月9日(月)までに、議会事務局へデータでご提出ください。

第14回市議会意見交換会の結果（2月3日、宝塚西高校）

第3班	テーマ 信号機の連携 バスの本数
	参加者 ・議員 (人数) 2人 (氏名) 田中こう 三宅浩二 ・生徒 (人数) 3人
<p><b>【①意見交換および発表の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信号機の連携について                      メンバーのひとりが1月17日に逆瀬川橋北詰交差点の渋滞を現地調査した内容（別紙）を説明                      西高からの青信号が30秒に対してアピア方面への青信号は1分30秒と差が激しくこの差が慢性的な渋滞を招いているとの調査結果であった。                      解決方法としては警察と連携し渋滞と信号機の間隔の関係性を分析し改善策を見つける。                      AIを利用した信号機が状況に応じて間隔を変えるなどの新しい手法の検討</li> <li>・バスの本数について                      状況としては、西高の下校時にバス停から高校敷地内まで行列ができ、タイミングによっては20分から120分の待ち時間が発生する。                      特に、全校生徒が一斉に下校する試験期間や部活休止日は行列が長くなる。                      また、西高から逆瀬川駅までバス停に止まらない急行便と普通便が存在し乗車ルールが違うため、座席の有効活用ができないケースがある。                      教職員が逆瀬川駅で学生を整理し、学生もルールを守るなど努力している                      今すぐできる解決策は見当たらないが、バスの有効活用のためにも時刻表に縛られない柔軟な運行はできないかとの意見がありました。</li> </ul> <p><b>【②意見交換から見えてきた市政の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性的な渋滞は市内の各所で発生しており、道路形状に起因するもの以外について分析、改善を定期的に行う必要があるのではないか</li> <li>・AIを利用した信号機が状況に応じて間隔を変えるなどの新しい手法の検討</li> <li>・高校を平地に移設する</li> </ul>	

※2月9日（月）までに、議会事務局へデータでご提出ください。

# 信号機・阪急バスの現地調査

2026.1.17 日(土)16:00～17:00

## 目次

1～4: 逆瀬川駅周辺における渋滞について  
5: 阪急バス 103, 104 系統について

### 1. 時間帯別車の量の推移

### 2. 逆瀬川橋北詰交差点について

I) 右折, 左折, 直進車の割合

II) 両方向における青信号から赤信号になるまでの時間

### 3. その他の事象について

### 4. 今回の調査についての私の見解

### 5. 阪急バスについて

i) 総合的に見ての概要

ii) 私の見解

# 1. 時間帯別車の量の推移

16:00～16:40 における宝塚ゴルフ場方面からの車の推移 (特に宝塚病院前交差点において渋滞がどれほど起こったか) について記していきます。

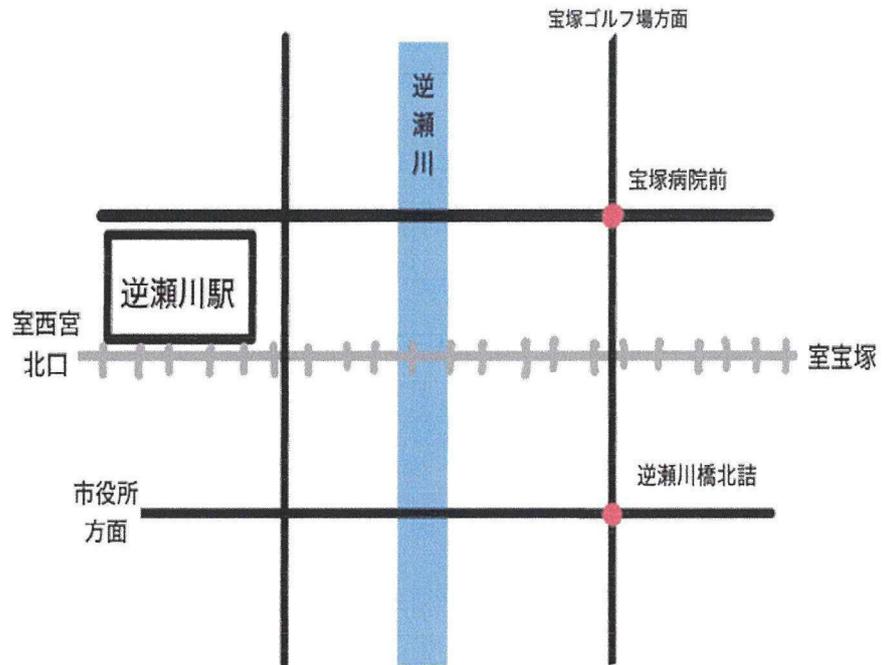
16:10 車が 2 台ほど直進した辺りで赤信号になり渋滞発生。

16:15 10 台ほど車が動いて停止。  
渋滞は解消されず。

16:20 10 台ほど車が動いて停止。

16:30 20 台ほど渋滞あり。

16:40 渋滞, ある程度解消。



## 2. 逆瀬川橋北詰交差点について I) 右折, 左折, 直進車の割合

ここでは宝塚ゴルフ場方面から来た車が逆瀬川橋北詰交差点で右折をするのか, 左折をするのか, 直進をするのかについての調査を 6 回分行いました。この調査により, 右折や左折をしたいが対向車や歩行者によってそれをするのに時間がかかった結果, 宝塚病院前交差点でも渋滞が発生しているのではないかとということが分かります。

	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目
右折車	3 台	2 台	6 台	5 台	6 台	3 台
直進車	3 台	3 台	0 台	3 台	1 台	6 台
左折車	2 台	1 台	2 台	1 台	4 台	2 台

以上の結果より, 平均をとると右折車は約 4.2 台, 直進車は約 2.7 台, 左折車は 2 台ということが分かります。1.を実施している間もこの交差点では右折車が多いなという印象があったのですが, その認識はある程度は合っているようです。よって, 右折車が多いことから宝塚病院前交差点から逆瀬川橋北詰交差点の間の道路は車が詰まりやすい傾向にあることが見てとれたと思います。

## Ⅱ) 両方向における青信号から赤信号になるまでの時間

ここでは逆瀬川橋北詰交差点において、宝塚ゴルフ場方面から来た車と、市役所方面へ抜けていく車のそれぞれが通過する信号機について青になっている時間を調べました。

宝塚ゴルフ場方面からの車の信号機が青になっている時間：30 秒

市役所方面に抜けて行く車の信号機が青になっている時間：1 分 30 秒

※ただし、市役所方面に抜けて行く車の信号機が青になっている時間について、市役所方面に抜けて行く車の信号機は時差式であるがより長く青になっている方の信号を記載している。

よってこの信号機は 2 分周期で動いていることがわかる。(互いに赤信号の時の時間は除く。)

### 3. その他事象について

宝塚ゴルフ場方面から見て宝塚病院前信号場から逆瀬川橋北詰信号場までにおいて車の動きについて観察をすると、以下のことが分かりました。図を使って説明していきたいと思います。

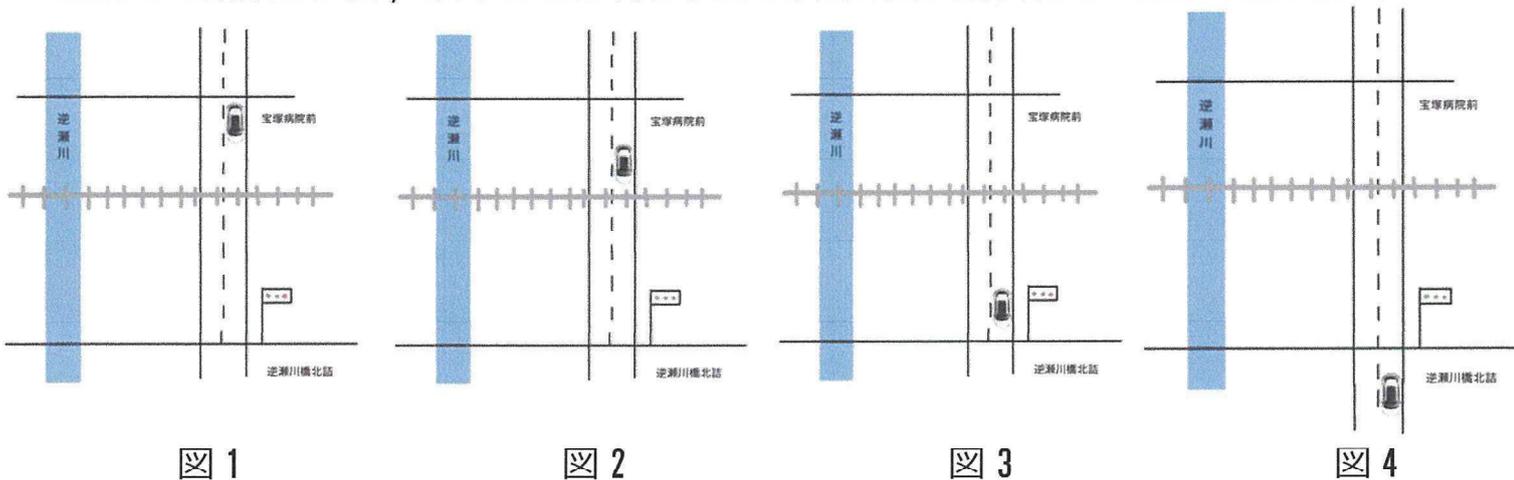


図 1 において車が止まっている時、逆瀬川橋北詰信号機が青になって車が進んでも (図 2)、車は次に赤信号になる時渡り切ることができず (図 3)、この区間において 2 回待つ必要がある (図 4) ことが分かりました。この結果や 2・I の結果を見てもわかるように車が 1 回の動作で 10 台程度、場合によっては 10 台未満の時もあることより、先程の 2・I と合わせても車がこの区間において詰まりやすいことが分かりました。

### 4. 今回の調査についての私の見解

今回、宝塚病院前交差点と逆瀬川橋北詰交差点の現地調査に行ってみて分かったことと、私個人として考える改善点がありました。

前者について、宝塚ゴルフ場方面からの車の宝塚病院前交差点における渋滞は時間帯によってかなりの差があることが分かりました。同じ 16 時台でも車が多い時はかなりの渋滞がありましたが車が少ない時は渋滞も解消されていたというのが印象でした。今回の調査は土曜日に行いましたが平日についての渋滞の程度を私の体験談で述べるなら、ある日の夕方のラッシュ時間帯で

私が学校から帰っている時に宝塚病院前交差点で野上バス停から少し進んだところまで渋滞が発生しており、バスの到着が大幅に遅れていたことがありました。この近辺には設備の整っている病院があり患者さんを乗せた救急車もよく見かけます。もし救急車が渋滞に巻き込まれると病院への到着が遅れ救える命が救えないということも可能性としては0とはいえません。そのため私はこの問題は解決すべきであると考えています。

後者について、この問題の改善点として一つ提案させていただきます。それは“逆瀬川橋北詰交差点の宝塚ゴルフ場方面の車が受ける信号の点灯時間を延ばす”ということです。このように考えるのは、現状の青信号になっている時間が30秒ということを見ると交通量の割に短すぎると考えるためです。確かに、宝塚ゴルフ場方面の信号機の車の量は時間帯によってバラバラではありますが渋滞が起こっていることや、交差点と交差点の間が詰まりやすいことを考えても点灯時間は伸ばすべきと考えます。決して宝塚市役所方面に行く車側の信号機の点灯時間を短くしてという訳ではなく、あくまで宝塚ゴルフ場方面の車の信号機の点灯時間を少し伸ばしてみてもいいのではないかと考えています。そうすることができれば時間帯で車の量がバラバラでも渋滞に対応しやすいと私は思います。

## 5. 阪急バスについて

### i) 総合的な概要

阪急バス103, 104系統宝塚西高校前から阪急逆瀬川へ向かうバスは現在平日朝の時間帯、17時以降のラッシュの時間帯は比較的多くのバスが運行され西校生だけでなくアヴェルデ前や西山団地からの乗客を乗せ、逆瀬台1丁目より先は101系統からのバスとともに乗客を運んでいます。しかし、休日のほとんどの時間帯と、平日の10時から14時の時間帯はバスが毎時3本しか運行されておらず、不便であるというのが現状です。さらに平日15時から16時の時間帯でも宝塚西高校前からは5本運行されていますがそのうち2本は直行便のため途中のバス停には止まりません。つまりアヴェルデ前、西山団地はこの時間帯でも毎時3本のためこの近辺に住む人々は不便であると考えています。私も17日(土)は西高校で模試があった関係で14時台の各バス停に停まるバスに乗りましたがその時も途中からの乗客が多く、西校生も私含めて数人乗っていましたがそれを考慮しても座席がほぼ埋まるほどの乗客が阪急逆瀬川に着くころには乗っていました。

### ii) 私の見解

私個人としては毎時3本になっている時間帯のうち、日中時間帯は1便ほど増便しても良いと考えています。毎時3本の時間帯でも、逆瀬台1丁目から阪急逆瀬川までは171系統と合流するので毎時6本あり十分確保されているのは承知していますが、西山団地から宝塚西高校前(ゆずり葉台とエデンの園へは考えないとする※103系統が宝塚西高校前で終点のため時間帯によっては便数が少なくなることは確かである)、逆瀬台5丁目から逆瀬台センターまでは毎時3本であり不便と感じます。そのため、私はバスを1本増便できないかと考えています。ただ、171・173系統どちらも毎時1本増便するのは運転手不足等を考慮して現実的ではないと考えます。そこで171系統と174系統で交互で毎時1便ずつ増便するという案を出させていただきます。こうすることで阪急バスさんにとってもあまり人件費をかけずに増便ができ、利用者にとってもバスの本数が増えて使いやすくなると思います。今後の少子高齢化問題も考えると、公共交通(鉄道・バスなど)の充実はその対応策の一つになると私は考えています。

第14回市議会意見交換会の結果（2月3日、宝塚西高校）

第4班	<p>テーマ バスの本数について</p> <p>参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員 (人数) 3人 (氏名) 富川議長、北野議員、坂本</li> <li>・生徒 (人数) 4人</li> </ul>
<p><b>【①意見交換および発表の内容】</b></p> <p>下校時のバスの本数について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本数が少なく、下校時間を調整しなければならない。</li> <li>・バスが少ない時間帯になると乗車しきれず、次のバス待たなければならない場合がある。</li> <li>・空席など空きスペースがあっても詰めて乗車しない生徒もおり、バスの利用方法も考えていかなければならない。</li> <li>・バスの定期代が月額一万円ほどかかり、負担を感じる。</li> </ul> <p><b>【②意見交換から見えてきた市政の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学費用の助成</li> <li>・バス以外の安全な通学方法</li> </ul>	

※2月9日（月）までに、議会事務局へデータでご提出ください。

第14回市議会意見交換会の結果（2月3日、宝塚西高校）

第4班	テーマ 鳥の害について
	参加者 ・議員（人数） 3人 （氏名） 富川議長、北野議員、坂本 ・生徒（人数） 4人
<p><b>【①意見交換および発表の内容】</b></p> <p>アピア付近の市役所通りにおけるムクドリの害について意見を述べられる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・糞や羽根などが車や洗濯物に付着して汚れる。</li><li>・歩道や道路に糞が落ち景観を損なっている。</li><li>・雨天時に道路に落ちている糞から悪臭がするため、窓を開けるのもためらう。</li><li>・早朝に鳴き声で目が覚め、安眠できない。</li></ul> <p><b>【②意見交換から見てきた市政の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・街路樹の剪定回数を増やせないか。</li><li>・街路樹を別のものにできないか。</li><li>・宝塚市街路樹管理計画へのパブコメ周知</li></ul>	

※2月9日（月）までに、議会事務局へデータでご提出ください。